

ここにいま

平成28年度西朝明中学校
学校通信 第5号
平成28年10月3日

ぜんごう つづ ほんねんし がっつ だいさんがくねん せいと と く ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ しつもん し
前号に続いて、本年4月に第3学年の生徒が取り組んだ「全国学力学習状況調査」の質問紙
について、保護者の皆様にお知らせします。生徒質問紙は、「朝食を毎日食べていますか」に始
まり、「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」まで、生
徒の学習状況や生活の様子を尋ねたものです。特徴的なことを順不同でご紹介します。

と ぜんこくへいきん けんへいきん したまわ たいせつ けいはつ
朝食を摂っている生徒は全国平均・県平均を下回っていて、朝食の大切さをさらに啓発してい
く必要を感じます。これは、生徒だけでなく保護者の方にも再度、お考えいただきたいことです。
たっせいかん ちょうせん じ ここうていかん もくひよう じぶん うわ
達成感や挑戦、自己肯定感や目標についての質問では、「自分にはよいところがある」はやや上
まわ いけん はっぴよう とく い おお
回り、「自分の考えや意見を発表することは得意」は全国平均を大きく上回っています。

まいにち かていせいかつ じかん しちょう やくはんすう けいたいでんわ しょう
ほぼ毎日の家庭生活では、2時間以上のテレビ視聴が約半数、携帯電話やスマートフォンの使用
とゲームがそれぞれ約3割というように、どれも全国平均・県平均を上回っています。一方、家
庭学習では8割以上が宿題を家でしていますが、予習をしているとか、復習をしているという
のは、半数を下回り全国平均をも下回っています。家庭における時間の使い方や家庭学習の在り
方等、適切な指導を学校と家庭で行っていくことが大きな課題です。

まいあさ ふだん
読書については、毎朝、読書をしているからか、普段から読書をし
たり、図書室を利用したりしている生徒は多い、という結果でした。

じゅぎょう まな あ じゅうし
授業については、1年生から学び合い学習を重視してきたためか、
「相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」ま
たは「工夫して発表していた」の回答では肯定的意見が多かったです。

はじ ていじ ご いしき けいこう
ただ、授業初めの目標提示や授業後のまとめはやや意識されていない傾向です。

きょうか こくご ひかく にがていしき かん
教科については、国語について全国平均・県平均と比較して苦手意識を感じている生徒が多く、
すうがく たか きょうみ かんしん も ぜんごう
数学には平均と比較して高い興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる傾向にあります。前号で
お知らせした国語と数学の結果と通じるところです。試験の際の解答時間については、どちらの



教科も十分でしたと多くの生徒が答えています。

地域や社会に関心はあるようですが、地域の行事への参加やボランティア活動への参加は全国平均・県平均より低く、今後一層、家庭や地域との連携を深めていきたいと思います。

今後、学力の向上や生活習慣の改善を図るには、次のように考えています。

授業 各教科で学び合いの授業を取り入れ、文章を読んだ

り、話を聞いたりすることで、基本的な学力を向上さ

せる。複雑そうな問題も順を追って説明し、自分でも

解けるという自信をつけさせるとともに、問題に向か

う粘り強さを身につけさせる。各教科で授業初めの「めあて」を提示し、授業後にまとめ

や振り返りを行う。



家庭学習 授業ごとに漢字の宿題を出し、授業の最初に漢字テストを行う。基礎を確認する学習

プリントをこまめに行う。授業のまとめを宿題にする。自学ノートを作って単語や文法の

復習をさせる。できるだけ毎日宿題を出し、授業初めに点検を行う。

毎日の帰りの会では、1年生は国語・数学・英語の3教科で、2・3年生は、国語・社会・数

学・理科・英語の5教科で基礎の学力の定着を図る学習をしています。また原則、隔週月曜日に

ミラクルタイムを設定しています。夏休みには小学校の先生方にもご協力いただき、補充学習

を実施しました。全てが生徒たちの基礎学力の定着を願っての取り組みです。ほんの短い時間で

すが、長く取り組めば補充学習の効果は必ずあります。大切なのは、集中して一所懸命に取り

組むという生徒たちの姿勢だと言えます。

授業ではわかったつもりだったのに、試験になると実力が発揮できないという生徒がいます。

私の中学時代もそうでしたが、わかるということと試験で得点できるということは明らかに異

なります。授業の後は復習して、確認のために練習問題に取り組むことが必要です。定着のため

のトレーニングということになりますが、この時間の確保が重要になります。

ご家庭でも、生活習慣の維持とともに、お子様の取り組む姿勢を励まし、見守ってください。